

平成22年11月2日 発行：猪の瀬戸湿原保全の会 事務局

輪地切り活動

10月31日、小雨模様の中、2月の火入れに向けた輪地切り作業を行いました。

9時30分、集合場所のRVアメリカンに集まったのは川野、児玉、生野、熊瀬、井上千鳥、後藤勝彦、工藤、梅木、小田の9名。本降りにならないうちに作業を終わろうと、すぐに現地へ移動して、火入れ区の周辺、刈り取り区とその周辺をB、A、Dの順に進めました。エンジン草刈り機が6台そろったので思ったより早く、午前中に刈り終わりました。



雨の心配もなくなったので、午後は防火帯整備の作業を進めることになりました。この日、他の行事と重なって参加できなかった波多野と後藤利雄の両名は川野、小田らと10月18日にこの整備作業をしていたので、さらにその奥地の整備に取り組みました。成長した樹木の伐採にはどうしてもチェーンソーが必要で、安全に対する一層の配慮が必要になってきました。

使用した機材はRVアメリカンの倉庫に整頓して収納し、一日の作業を終えました。

別府市の環境広報誌

「エコ湧〜く」に活動紹介記事掲載

わたくしたちがこれまで取り組んできた湿原環境保全のための活動が、別府市環境課の広報誌「エコ湧〜く」9月号で紹介されました。(左の写真)

湿地植物保護のための野焼きやサクラソウ保護のロープ張り、外来植物イタチハギの駆除、希少指定植物ヒメユリの保護活動をボランティアで取り組んでいることなど写真入りで掲載しています。

環境課には県道沿線の清掃活動で集まったペットボトルや空き缶の処理などをしてもらっていますが、行政と住民ボランティアの協力体制が「ごみ0（ゼロ）おおいた」の取り組みとなり、「恵み豊かで美しく快適なおおいた」をめざした地域づくりの例でしょう。

